

マクロ経済学II過去問集(1997,1999-2003)

平成 17 年 1 月 13 日

1. 以下の用語をできるだけ正確に解説せよ。(各 3 行以内)
 - (a) 均衡成長経路
 - (b) 技術進歩の中立性
 - (c) ハロッド=ドーマー条件
 - (d) 景気
 - (e) 加速度原理
 - (f) 実ショック
 - (g) 最適成長理論
 - (h) 合理的期待仮説
 - (i) ルーカス供給関数
 - (j) ヒックス中立的技術進歩
 - (k) 自己回帰過程
2. 景気を捉える手段について、経済理論家と実務家の接近法の相違に注意しながら、10 行以内で論ぜよ。
3. カルドアの景気循環理論の概略を、図あるいは数式、もしくはその両方を用いて説明せよ。
4. 外生的ショックを持続的変動の説明に用いる理論の中心が、サージェント等の貨幣的均衡景気循環理論から、プロッサー等の実景気循環理論へと移行したのはなぜか。10 行以内で論ぜよ。
5. ルーカスの貨幣的均衡景気循環理論の概要をのべ、その帰結の意味をまとめよ。(10 行以内)
6. 実景気循環理論のさまざまな問題点を整理せよ。(理論的、実証的、応用面、いろいろな側面を取り上げてよい。)(10 行以内)
7. 講義では、景気循環を産出水準の中期的変動として捉えた。そうした変動は人為的に制御できるだろうか。できるとするならば、講義で取り上げたどの理論に立脚するのだろうか。できないとするならば、なぜか。貴君の説を述べよ。(行数自由)
8. ソロウの新古典派成長理論において成立する定常成長経路の安定性は、ハロッドの主張する不安定性原理と矛盾しない。なぜか。(5 行以内)
9. 内生的成長理論では、労働用役のような本源的生産要素の供給の成長率がゼロであっても経済成長が起こる。なぜか。また、それは経済の実態に照らして妥当であるか、

自らの見解を述べよ。(行数自由)

10. カルドアの景気循環理論以降、カオス理論に基づくものまで含めて、非線形景気循環理論全般の問題点について論ぜよ。(4行以内)
11. 実景気循環理論の長所と短所を簡潔にまとめよ。(4行以内)
12. ルーカスの誤認モデルにおいて、今期における経済全体の物価水準を各市場の主体が確実にわかってしまうとすると、ルーカスの理論の結論はどのように修正されるかを論ぜよ。(12行以内)
13. ルーカスの誤認モデルによる均衡景気循環理論と実景気循環理論を比較して、共通点と相違点を論ぜよ。
14. 乗数・加速度の相互作用モデルの特性について述べよ。
15. カルドアの景気循環理論をはじめとする内生的景気循環理論において、何らかの非線形性を想定することは、一般的に不可欠である。何故か。
16. ルーカスらの均衡景気循環理論が、1980年代になってから、批判されたのは何故か。
17. 実景気循環理論の前提と、理論の帰結を述べよ。また、その意義と限界を論ぜよ。